

写真管理基準に関する特記仕様書

1 適用範囲

本特記仕様書は、公園緑地等管理委託における写真管理に適用する。

2 委託写真の種類

委託写真には、次の種類のものが挙げられる。

区分	写真の種類	撮影内容
状況写真	安全管理写真	・ 施工中の保安設備の設置状況、高所作業の安全管理状況が確認できる写真 ・ 業務期間内の安全管理・訓練の写真
	施工前写真	・ 各工種の施工前の状況が確認できる写真
	施工完了写真	・ 各工種の施工完了の状況が確認できる写真 * 施工前写真と施工完了写真については、同一場所・方向で撮影すること。
出来形管理写真	出来形管理写真	・ 各工種の出来形寸法が確認できる写真 * 出来形寸法については、リボンテープ、スタッフ等を使用し、施工後に撮影すること。

3 撮影の実施

(1) 委託写真には、次に示す要素を記入した黒板（小黒板を含む）を同時に写し込むこと。

ア 委託名、公園名または緑道名、日付 ※必ず日付も黒板に記載すること。

イ 写真の種類（安全管理写真、施工前写真、施工完了写真、出来形管理写真）

ウ 工種又は内容（契約単価明細に記載の工種、安全管理写真については撮影内容）

エ 出来形寸法（出来形管理写真のみ）

* 出来形寸法については、施工後の寸法とするが、特別な指示や事情がある場合には、監督員と協議し撮影すること。

(2) 写真の色彩やサイズは、以下のとおりとする。

ア 写真はカラーとする。

イ 有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする（100万～300万画素程度：1,200×900～2,000×1,500ピクセル程度）。

4 写真の管理

(1) 委託写真については「電子納品に関する特記仕様書」に基づき管理すること。なお、完了時以外にも履行報告等、監督員が請求した場合には撮影写真データを提出しなければならない。

(2) 委託写真の撮影項目及び撮影内容等は、公園（緑道の場合は工区）ごとに、「別表1」に記載

の項目及び内容を標準とし撮影すること。写真の種類や工種ごとに、撮影項目や時期・内容が異なるため、十分に注意して実施すること。

「別表 1」 撮影密度 （＊緑道に関しては、公園を工区と読み替える。）

区分	写真の種類	種 別	撮影項目	撮影時期	撮影密度 （必要枚数）
状況 写真	安全管理	保安設備	代表部分	適宜	施工中の保安設備の設置状況、高所作業時の安全管理状況等を撮影する。 （代表部分で各 1 枚）
		安全訓練	代表部分	業務期間内に 1 枚	安全訓練の実施状況写真 1 枚
		施設点検	異常個所	異常発見時	異常個所ごとに 1 枚
	施工前		代表部分	施工前	公園、工種、樹種（常緑・落葉・針葉）ごとに撮影する。 （撮影枚数は出来形管理写真の撮影枚数と同数）
	施工中	人力除草	代表部分	施工中	公園ごとに撮影する。
	施工完了		代表部分	施工完了後	公園、工種、樹種（常緑・落葉・針葉）ごとに施工前写真と同一位置、同一方向で撮影する。 （撮影枚数は出来形管理写真の撮影枚数と同数）
出来形 管理 写真	出来形 管理	低木刈込み 1.5m未満 1.5m以上	代表部分の ・高さ	施工後	公園ごとに 1 枚 ※撮影箇所を図示する。
		生垣刈込み 1.5m未満 1.5m以上	代表部分の ・高さ	施工後	公園ごとに 1 枚 ※撮影箇所を図示する。
		中木剪定 高さごとに	代表部分の ・高さ	施工後	公園、高さごとに 1 枚 ※撮影箇所を図示する。

区分	写真の種類	種 別	撮影項目	撮影時期	撮影密度（必要枚数）
		高木剪定 幹周ごとに	代表部分の ・ 幹周	施工前	公園、樹種（常緑・落葉・針葉）、 出来形寸法（幹周）ごとに１枚 ※撮影箇所を図示する。
		伐採及び 枯損木撤去	・ 幹周	施工前	実施対象樹木全て撮影

- * 上記の撮影枚数は標準であり、特別な事情のある場合には監督員と協議すること。
- * 藤棚剪定については、状況写真、出来形管理写真を実施箇所毎に撮影することとし、出来形管理写真は、藤棚の面積等をスタッフ・リボンテープ等で計測する等により、数量が確認できるよう撮影すること。
- * ハチの巣撤去については、出来形管理写真を実施箇所毎に撮影することとし、出来形管理写真は、撤去したハチの巣の写真を撮影すること。
- * 砂場砂補充については、状況写真、出来形管理写真を実施箇所毎に撮影することとし、出来形管理写真は、施工前・施工後の砂場の高さ及び砂場の面積等をスタッフ・リボンテープ等で計測する等により、砂補充量が確認できるよう撮影すること。
- * 低木刈込み、生垣刈込みの出来形管理写真の枚数については、監督員と協議の上、変更することができる。
- * マス清掃については、施行状況写真を実施箇所毎に撮影すること。

５ 写真の管理について

- （１）写真ツリーは公園番号毎とし１作業において前後を１セットとすること。
- （２）業務完了時に提出する数量根拠資料に、写真の撮影箇所を必ず図示すること。